

..... 編集後記

◆ 「大雪」の厳しい冬でしたが、いよいよ3月、梅の花が開き、春到来が実感される今日この頃です。皆さんも春の訪れを実感されていることと思います。冬の厳しさの分だけ、素晴らしい春がきてほしいものです。

◆ さて今月の地質ニュースは、「モロッコの地質」・「韓国の地質」・「四国の砂浜」・「砥用図幅」・「筑波山」・「標本館だより」・「書籍紹介」と多彩な内容となりました。

◆ まず、蟹江氏他の皆さんが2005年12月号に続き、「アフリカとヨーロッパの架け橋、モロッコの地質を訪ねて-2.モロッコへ、そしてアトラス山脈を越え」と題して、モロッコの民族から自然まで、めずらしい話題を一杯紹介してくださいました。表紙・口絵写真とあわせ、お楽しみ下さい。

◆ 韓国の地質に関しては、2つの報告が寄せられました。吉川氏は「韓国の白亜系の地質」と題して両国の地質図作成グループによる研究交流について紹介されました。研究交流で日本海形成以前は陸続きだった両地域の地質に新発見が得られることが期待されます。徳橋氏他の皆さんは「韓国南東部第三紀ポハン堆積盆に発達する中新世トウムサンファンデルタの堆積物と堆積様式の特徴」と題し、日本海拡大最盛期に日本海最西端部に形成された大規模な扇状地ないし三角州の堆積物の堆積様式や露出状況を調査ルートに沿って詳しく紹介されました。

◆ 次に須藤・有田氏が、「西土佐の海岸：仁淀川か

ら四万十川へ」と題して、高知県西部の美しい浜と砂を紹介されました。なかなか行く機会もないところ、口絵の写真とあわせてご覧下さい。

◆ 斎藤氏他の皆さんは「5万分の1地質図幅「砥用」-日本列島の縮図、149の凡例が示すもの」と題して、この地質図に秘められた事実や謎を口絵写真もあわせ、解説されました。口絵に示された地質図、複雑で解説さえ難しそうですが、この解説で私にも何とか読めそうな気がしてきました。

◆ 東京からつくばへ電車が開通、筑波山を訪れる人が急増しているようです。筑波山の達人・高橋氏が地質調査総合センターのウェブ上に公開した地質案内の概要を紹介されました。多くの方に活用してほしいものです。

◆ 井川氏他の皆さんはつくば市立並木小学校での出前レクチャーを紹介、標本館だよりでは昨年秋の体験学習会・化石レプリカづくりが紹介されました。どちらも、子ども達のいきいきとした笑顔がとっても印象的です。

◆ 目代氏は「形の科学百科事典」を紹介、あまり関係ないと思いきや、珪藻と言えばあんな形と思いこんでましたが、なぜあんな形?・・・はまってしまいましたよね。

◆ 多彩な3月号、いかがでしたでしょうか? 梅が咲いたら、桜が待ち遠しくなってきました。では地質ニュース次号をお楽しみに。

(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・七山 太

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

地質ニュース

第619号 2006年 3月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2006年3月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2006 Geological Survey of Japan
●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。